

対話で拓く低炭素社会 —日本のエネルギーを考える— 低炭素社会づくり「対話」フォーラムから見えてきたもの

ステークホルダーによる2年間に及ぶ徹底討議から見えてきた、
2050年低炭素社会に向けた我が国のエネルギー供給のあり方、ライフスタイルのあるべき姿とは？
その議論の討議経緯の報告、我が国のとるべき政策アプローチなど、
「対話」が拓く低炭素社会の明日について皆さんと一緒に考えていきます。

日時:2011年6月22日(水)
時間:13:00~17:00(開場12:30)
場所:上智大学四谷キャンパス7号館14階特別会議室
入場無料(参加申し込み)

<プログラム>

13:00 開会挨拶

13:10 第一部 講演:「GHG長期大幅削減に向けた我が国のとるべき政策アプローチとは
— 東日本大震災、原発事故問題を受けて —」

(演者) 飯田 哲也 (特)環境エネルギー政策研究所)

槌屋 治紀 (株)システム技術研究所)

山地 憲治 (財)地球環境産業技術研究機構) ※五十音順

(進行) 石川 雅紀 (神戸大学)

15:00 第二部 報告とパネル討議

報告:低炭素社会づくり「対話」フォーラムのねらい

(報告者):柳下 正治(上智大学 環境政策対話研究センター長、大学院地球環境学研究所)

パネル討議:「対話」フォーラムから見えてきたもの ~実装に向けた課題

(登壇) 秋元 圭吾 (財)地球環境産業技術研究機構)

西岡 秀三 (独)国立環境研究所)

根岸 哲 (川崎市地球温暖化対策推進協議会)

山口 善久 (東京ガス(株))

平田 仁子 (気候ネットワーク)

榎本 晃章 (社)日本動力協会)

明珍 美紀 (毎日新聞社) ※五十音順

(進行) 柳下 正治

17:00 閉会



未来への対話がはじまっています。

低炭素社会を実現していくためには、社会を構成するさまざまな人々の確固たる意思と、それに基づく行動力が必要となります。しかし現在の日本には、そうしたものの基盤となる確かな知見を得る場も、低炭素社会の実現に関わる人々が意見を交わし、思慮を深めていく対話の場もほとんどありません。この「対話」フォーラムは、未来を見据えた責任ある議論ができる“場”を創造するために立ち上げたものです。未来の日本と将来世代のために、このプロジェクトを社会の多くの当事者や関係分野の専門家・実務家の協働による社会実験研究として始めます。



低炭素社会づくり「対話」フォーラム実行委員会
研究代表者上智大学大学院 地球環境学研究科教授 柳下正治

<研究目標>

長期GHG大幅削減に係る熟議と対話に基づく社会的意思の形成のための場・機能の開発

長期的なGHG大幅削減に向けて科学と社会の間での応答を介し、ステークホルダー間の熟慮と対話を基礎とした社会的意思の形成に資する場、及びその機能の開発・提案、社会実装を追求する。その社会実証のため、約2年に及び科学者/専門家と29名のステークホルダーによる低炭素社会づくり「対話」フォーラムを上智大学にて開催した。



低炭素社会づくり「対話」フォーラムHP: <http://www.sh-forum.net/>

パネリスト紹介

飯田 哲也

特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所 所長

■プロフィール

環境エネルギー政策研究所所長。 Lund 大学 (スウェーデン) 客員研究員。自然エネルギーや原子力などの環境エネルギー政策専門家。中央環境審議会、東京都環境審議会などを歴任、2009年11月には、新政権の25%削減タスクフォース有識者委員、および行政刷新会議ワーキンググループ事業仕分け人。

槌屋 治紀

株式会社 システム技術研究所 所長

■プロフィール

東京大学工学部機械工学科卒業。1970年、同大学院博士課程卒業、工学博士。1979年、株式会社システム技術研究所を設立、所長。現在に至る。国立環境研究所「脱温暖化2050プロジェクト」アドバイザー、日本政府のエネルギー政策および地球温暖化に関する各種委員会委員。

山地 憲治

財団法人 環境産業技術研究機構 理事 研究所長

■プロフィール

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、工学博士。1994年、東京大学教授 (大学院工学系研究科電気系工学専攻)。2010年より(財)地球環境産業技術研究機構理事・研究所長、東京大学名誉教授。エネルギーシステム工学に関する研究に従事。エネルギー・資源学会副会長。日本エネルギー学会副会長。日本学術会議会員。

シンポジウムに参加ご希望の方は、お名前、ご所属、ご連絡先(メールアドレス)を記入の上、「対話」フォーラム事務局へ「メール」にてお申込みください。当日は、参加登録の返信メールを印刷のうえ、ご持参ください。

■参加申し込み・問い合わせ先/低炭素社会づくり「対話」フォーラム実行委員会事務局(上智大学 環境政策対話研究センター内)

E-mail: sympo@genv.sophia.ac.jp

□お問い合わせ/<事務局>低炭素社会づくり「対話」フォーラム 実行委員会事務局 上智大学大学院 地球環境学研究科 柳下研究室 内・政策形成対話研究室 <住所/電話>〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1 TEL/FAX: 03-3238-4071/ 4365